

今週の「人プロ」 第8回

食肉市場（芝浦と場）

人プロ 142ページ

令和6年7月12日（金）

## ・食肉市場（芝浦と場）

<https://www.shijou.metro.tokyo.lg.jp/syokuniku/>

「みなさんが食べているお肉は、どこで、どのように作られていると思いますか？」

→ 芝浦と場では、戦前から現在に至るまで、私たちに安全でおいしいお肉を提供しています。

「にもかかわらず、食肉処理に従事する人々に対する人権侵害が起きています。」

⇒ 江戸時代以前にはと畜解体の仕事が部落差別（同和問題）と深く関わってきたという歴史や、食肉や「と場」に対する「ケガレ意識」などの誤った観念から、食肉市場で働く人に対する強い偏見・差別が残されている現実があります。

・「お肉の情報館」で学べます。

<https://www.shijou.metro.tokyo.lg.jp/syokuniku/rekisi-keihatu/rekisi-keihatu-03-01/>

# 人プロ 142ページ 「同和問題(部落差別)」

- 同和問題(部落差別)とは

同和問題とは、日本社会の歴史的発展の過程で形づくられた身分制度や歴史的、社会的に形成された人々の意識に起因する差別が、様々なかたちで現れているわが国固有の重大な人権問題です。

現在もなお、同和地区（被差別部落）の出身という理由で様々な差別を受け、基本的人権を侵害されている人々がいます。

封建時代において、えた、ひにん等と呼ばれていた人々は、武具・馬具や多くの生活用品に必要な皮革をつくる仕事や、役人のもとで地域の警備を行うなど、生活に欠かせない役目を担っていましたが、住む場所、仕事、結婚、交際など、生活のすべての面で厳しい制限を受け、差別されていました。

それらの人々が、住まわされていた所が「同和地区（被差別部落）」、それらの人々に対する差別が「部落差別」といわれています。